



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東・大
 コード番号 6013 URL <http://www.takuma.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手島 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 泉 雅彦 (TEL) 06-6483-2610
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	37,071	△9.4	1,125	700.0	1,751	201.4	1,461	—
24年3月期第2四半期	40,917	21.7	140	—	581	—	△1,332	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 653百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △1,371百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.67	—
24年3月期第2四半期	△16.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	89,463	28,760	31.9
24年3月期	107,028	28,308	26.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 28,552百万円 24年3月期 28,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	2.00			
25年3月期(予想)			—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,000	△4.0	4,000	△37.8	5,000	△31.8	4,000	△5.0	48.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	87,799,248株	24年3月期	87,799,248株
25年3月期2Q	5,117,558株	24年3月期	5,110,822株
25年3月期2Q	82,684,370株	24年3月期2Q	82,682,643株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	11
(6) セグメント情報	11
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などから、引き続き底堅く推移してきましたが、欧州債務危機を巡る不確実性が依然として高く、中国を中心とする海外経済の減速から企業の生産活動が弱まっており、先行きは不透明な状況にあります。

このような経済情勢の下で、安定的な電力供給のあり方が問われているなか固定価格買取制度が施行されるなど再生可能エネルギーに注目が集まっており、当社グループの主要製品である廃棄物処理プラント、国内外のバイオマス発電プラントなどのさらなる需要が見込まれております。当第2四半期連結累計期間の業績としては、ごみ処理施設の大規模改修工事、災害廃棄物の仮設焼却炉建設工事、国内外のバイオマス発電ボイラなどを受注したことから受注高は50,554百万円となり、前年同期に比べ9,222百万円(22.3%)の増加となりました。売上高については37,071百万円と、大型のごみ処理施設建設工事が大きく進捗した前年同期に比べ3,845百万円(9.4%)の減少となりました。また、受注残高については91,643百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の損益面においては、売上高が減少したものの、リスク管理、コスト管理の徹底に取り組んできた成果が現れており、営業利益は1,125百万円と前年同期に比べ985百万円(700.0%)の増加となり、経常利益は1,751百万円と前年同期に比べ1,170百万円(201.4%)の増加となりました。また、前年同期は訴訟損失引当金繰入額を特別損失に計上しておりましたが、これらの訴訟の解決もすすんでおり新たに多額の訴訟損失が見込まれる状況にないことから特別損失が大きく減少し、四半期純利益でも1,461百万円と前年同期に比べ2,794百万円の大幅な改善となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の事業形態として、上半期に比較して下半期が多くなる傾向にあります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	売上高	営業損益	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	36,559	25,147	1,850	79,806
環境・エネルギー(海外)事業	1,408	1,946	111	1,872
民生熱エネルギー事業	9,147	7,526	△6	5,561
設備・システム事業	3,704	2,643	△65	4,525
計	50,820	37,264	1,889	91,765
調整額	△265	△193	△763	△121
合計	50,554	37,071	1,125	91,643

① 環境・エネルギー(国内)事業

ごみ処理施設の大規模改修工事、災害廃棄物の仮設焼却炉建設工事、バイオマス発電ボイラなどを受注したことから受注高は36,559百万円となり、前年同期に比べ9,897百万円(37.1%)の増加となりました。売上高については25,147百万円と、大型のごみ処理施設建設工事が大きく進捗した前年同期に比べ4,905百万円(16.3%)の減少となりました。

損益面では、リスク管理、コスト管理の徹底に取り組んできた成果が現れ、営業利益1,850百万円と前年同期に比べ534百万円(40.6%)増加しております。

② 環境・エネルギー(海外)事業

東南アジアでのバイオマス発電ボイラを受注したものの、受注高は1,408百万円と前年同期に比べ1,659百万円(54.1%)の減少となりました。売上高については1,946百万円と前年同期に比べ364百万円(23.0%)の増加となりました。

損益面では、アジアでの事業拡大に向けた体制整備にかかる費用が発生しているなか営業利益111百万円となりましたが、前年同期に比べ7百万円(6.5%)減少しております。

③ 民生熱エネルギー事業

主力製品である貫流ボイラ、真空式温水機の拡販のほか、既納入製品の保守契約の拡大、部品販売や修繕等のメンテナンス需要の獲得に努めており、受注高は9,147百万円と前年同期に比べ96百万円(1.1%)の増加となりました。また、売上高についても7,526百万円と前年同期に比べ97百万円(1.3%)の増加となりました。

損益面では、営業損失6百万円となったものの、前年同期に比べ383百万円改善しております。

④ 設備・システム事業

半導体産業用設備の需要は引き続き低迷しているものの、建築設備の需要は増加してきており、受注高は3,704百万円と前年同期に比べ869百万円(30.7%)の増加となりました。売上高については2,643百万円と前年同期に比べ191百万円(7.8%)の増加となりました。

損益面では、営業損失65百万円となったものの、前年同期に比べ79百万円改善しております。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

再生可能エネルギー関連の需要のほか、震災復興の需要などから、資機材価格、工事価格の上昇も見込まれますが、当社グループの業績につきましては、当第2四半期連結累計期間においても堅調に推移しており、平成24年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想から現時点で変更はありません。

なお、当社グループの事業では、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけての進ちょく、引渡しによって売上高が多くなる傾向にあり、当期においても第4四半期の売上高は他の四半期に比べ大幅に増加すると見込んでおります。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,189	29,318
受取手形及び売掛金	49,253	20,805
有価証券	72	4
たな卸資産	5,422	6,069
その他	3,961	4,607
貸倒引当金	△36	△26
流動資産合計	76,863	60,779
固定資産		
有形固定資産	12,250	12,037
無形固定資産		
のれん	1,399	1,272
その他	277	253
無形固定資産合計	1,677	1,525
投資その他の資産		
投資有価証券	11,096	9,675
その他	5,748	6,060
貸倒引当金	△608	△616
投資その他の資産合計	16,237	15,120
固定資産合計	30,164	28,683
資産合計	107,028	89,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,942	20,436
短期借入金	16,958	12,662
未払法人税等	177	196
賞与引当金	1,683	1,614
製品保証引当金	322	349
工事損失引当金	41	64
訴訟損失引当金	1,210	690
その他	5,256	5,900
流動負債合計	57,591	41,914
固定負債		
長期借入金	11,732	9,629
退職給付引当金	6,903	7,130
役員退職慰労引当金	218	201
負ののれん	1,697	1,290
その他	576	535
固定負債合計	21,127	18,787
負債合計	78,719	60,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,840	3,840
利益剰余金	13,557	14,858
自己株式	△3,600	△3,602
株主資本合計	27,165	28,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	971	213
繰延ヘッジ損益	15	△0
為替換算調整勘定	△104	△123
その他の包括利益累計額合計	882	89
少数株主持分	260	207
純資産合計	28,308	28,760
負債純資産合計	107,028	89,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	40,917	37,071
売上原価	33,552	29,126
売上総利益	7,364	7,944
販売費及び一般管理費	7,224	6,818
営業利益	140	1,125
営業外収益		
受取利息	44	44
受取配当金	143	231
持分法による投資利益	262	191
負ののれん償却額	406	406
その他	85	93
営業外収益合計	942	967
営業外費用		
支払利息	296	240
その他	205	101
営業外費用合計	502	341
経常利益	581	1,751
特別利益		
投資有価証券売却益	51	—
特別利益合計	51	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	28
ゴルフ会員権評価損	—	9
訴訟損失引当金繰入額	1,712	—
減損損失	236	—
特別損失合計	1,948	37
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,315	1,714
法人税等	6	246
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,322	1,467
少数株主利益	10	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,332	1,461

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,322	1,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△758
繰延ヘッジ損益	△7	△30
為替換算調整勘定	12	△25
その他の包括利益合計	△49	△814
四半期包括利益	△1,371	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,364	668
少数株主に係る四半期包括利益	△6	△14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,315	1,714
減価償却費	451	416
減損損失	236	—
のれん償却額	267	127
負ののれん償却額	△406	△406
投資有価証券売却損益(△は益)	△51	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	119	△68
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△18	23
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	1,712	△520
退職負債の増減額(△は減少)	219	199
受取利息及び受取配当金	△188	△275
支払利息	296	240
持分法による投資損益(△は益)	△262	△191
売上債権の増減額(△は増加)	20,521	29,247
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,014	△648
未収消費税等の増減額(△は増加)	△277	37
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△316	△799
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,422	△11,337
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19	82
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5	△284
その他	40	9
小計	14,559	17,590
利息及び配当金の受取額	288	563
利息の支払額	△311	△232
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△22	△49
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,513	17,871

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△53	150
有形固定資産の取得による支出	△129	△202
無形固定資産の取得による支出	△23	△12
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	292	67
貸付けによる支出	△122	△135
貸付金の回収による収入	147	110
その他の投資の増加による支出	△16	△6
その他の投資の減少による収入	287	19
その他	8	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	390	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,770	△4,300
長期借入れによる収入	150	—
長期借入金の返済による支出	△1,740	△2,098
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	—	△165
少数株主への配当金の支払額	△6	△46
その他	△25	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,393	△6,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,534	11,218
現金及び現金同等物の期首残高	15,509	17,384
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	80
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,043	28,683

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことから、ひたちなか・東海ハイトラスト㈱を連結の範囲に含めております。

(6) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,824	1,582	7,399	2,109	40,917	—	40,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	28	342	600	△600	—
計	30,053	1,582	7,428	2,452	41,517	△600	40,917
セグメント利益又は損失(△)	1,315	118	△389	△144	900	△759	140

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△759百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△877百万円及びその他の調整額117百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,996	1,946	7,493	2,634	37,071	—	37,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151	0	32	8	193	△193	—
計	25,147	1,946	7,526	2,643	37,264	△193	37,071
セグメント利益又は損失(△)	1,850	111	△6	△65	1,889	△763	1,125

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△763百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△849百万円及びその他の調整額85百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。